

# 探訪記から

## 「啄木と平和」展から

「啄木と平和」展が、6月20日(金)から8月31日(日)まで、滝沢市大沢の佐々木敏男宅で行われており見学しました。本名は、石川一(はじめ)。明星に寄稿するロマン主義詩人として頭角を現し、満19歳で最初の詩集を刊行する。しかし、経済的事情から、代用教員や新聞記者として務めるかたわら、小説家を志すが失敗、東京で新聞

の校正係になってから、1910年に初の歌集「一握の砂」を刊行し、生活に即した新しい歌風を取り入れ、歌人としての名声を得る。また、同年におきた大逆事件を契機として、社会主義への関心を深め、文学評論も執筆したが、結核により満26歳で没する。



展示会場／滝沢市大沢米倉51 佐々木敏男宅(見学をご希望の方は事前に佐々木さん090-4885-5459にご連絡願います)

# 政務活動報告

## ～地方議員研究会セミナーから～

令和7年3月24日から25日、東京都新宿区リファレンス西新宿大京ビルにおいて甲南大学経済学部足立泰美教授から1日目は、人口構造の変化と子ども・子育て支援政策の変遷など、2日目は、公共施設などの総合的な管理による老朽化対策などについて学びました。少子高齢化の最大の問題点は、社会保障制度の支え手となる労働人口が減少すること、高齢者の医療、福祉、介護費の増大です。よって、社会保障制度の給付と負担のバランスが崩れ、財政の危機が深刻化し、公共施設の老朽化対策などができなくなるので少子高齢化対策は最大の課題であることを学びました。

## ～第17回日本自治創造学会研究大会から～

令和7年5月15日から16日、東京都千代田区明治大学のアカデミーホールで第17回日本自治創造学会研究大会が「変容する社会・地方選挙～地方自治のあり方を問う～」をテーマに開催されました。①「地方自治における政治の復権」②「日

本の統治構造～官僚内閣制は議院内閣制になったのか～」③「JICAにおける地方創生20・地域活性化事業への挑戦」④「地方自治のあり方を問う～地方自治の危機～」⑤「AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略～都知事選の経験」・・・⑧「高齢社会における大災害への対応と課題」について自治体の首長や大学教授などの講演会が行われました。令和6年9月の奥能登の豪雨による高齢者施設への影響は深刻でした。地震で休止していた施設も多く、その復旧が進む中で新たな豪雨災害が発生しました。特に仮設住宅への浸水被害も多く、災害リスクの高い場所への建設が余儀なくされた実態が浮き彫りにされました。このような複数災害は、いつ、どこにでも発生する可能性があります。「最大被害を想定した避難訓練が必要と言われていますが、実際その規模を想定した避難訓練を行うことは難しい」と言及されていました。

本市の課題解決を見据えた具体的提案について学ぶことができ大変参考になりました。

## 編集後記

猛暑日が続いた夏ですが皆様、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今夏は、6月から猛烈な暑さに見舞われ、熱中症警戒アラートが発表されるなど、熱中症の危険度が高い状態が続きました。また、人間の生活圏へのクマの出没も相次ぎ、人を襲う被害も出ており心配です。今年の滝沢の特産品のスイカの出来栄はどうか。散歩途中スイカ畑をのぞいてみると「スイカがゴロゴロの歌」のように、畑一面大きなスイカが立派な実を付けていました。



もうすぐ、秋の収穫時期です、お米に、りんごも五穀豊穡を祈りたいものです。今年、戦後80年の節目の年です。平和憲法のもと、平和で豊かな暮らしができる尊さをあらたにしたいものです。また、次号でお会いしましょう。



# ふくちゃん通信

発行/かの福雄事務所 2025.08 No.10

残暑お見舞い申し上げます。暑い日々が続いておりませんが、皆様におかれましては、健やかに過ごしてのこととお慶び申し上げます。7月20日に投票が行われた第27回参議院選挙は、125の議席をめぐって争われ、自民・公明両党は過半数の議席を維持できず衆議院に続き参議院でも少数与党となりました。国民の選択により、物価高への不満や新興勢力の台頭を背景に、与党は大幅に議席を減らし、過半数を割り込む厳しい結果となりました。石破茂総理大臣は続投する考えを示しておりますが、政権与党には、民意を真正面から受け止め、内外の信任を得るに足る新たな政治体制を構築してほしいものです。岩手選挙区は、立憲民主党の現職、横沢高徳さんが物価高対策や社会保障の充実などを訴え、2回目の当選を果たされました。おめでとうございます。今夏は、地球温暖化による気温の上昇に加え、ラニーニャや太平洋高気圧の影響が重なり、記録的な猛暑となっています。連日、熱中症の疑いで搬送される人が後を絶たず、この暑さで野菜や果物などの農作物にも異変がみられ、価格や品質にも影響が出ることが予想されます。備蓄米が店頭に並び始めたにもかかわらず米の高止まりも続いている状況です。暮らしの実感に根ざした政策を重視し、現実的で実効力のある改革を目指してほしいものです。令和7年は、先の大戦の終わりからちょうど80年の節目の年となります。私たちはあらためて過去の戦災を振り返り、その記憶を心に刻み、平和な社会を実現しなければなりません。

## かの福雄 MESSAGE

本市におきましては、「第2次滝沢市総合計画」の取組が進められています。この計画は、「やさしさ」に着目した地域づくりを進め、「やさしさ」に包まれた滝沢の実現を目指しています。滝沢市議会は、2月2日に市民議会を開催し、「ともに生きる滝沢」をテーマに9組18人からご意見をいただきました。「障がいがある人もない人も誰もが住みよい滝沢にするために」「お年寄りや認知症の方が暮らしやすいように福祉バスの本数を増やすなど、誰かが困っている時にすぐ気がついて助けられるやさしさがあふれる滝沢に」「心に残る大切なものはふるさと滝沢から始まり、伝統を生かしたまちづくりを取組んで欲しい」「身近な施設や場所にユニバーサルデザインを取り入れ、だれもが住みやすい滝沢になって欲しい」など、みんながやさしく、困っている人を助けたいという提言がいろいろありました。また、小学校を会場に9地区において議会報告会を開催しました。議会の活動状況を報告することも多くのご意見をいただきましたので、議会活動に反映していきたいと思っております。滝沢地域が「やさしさ」に包まれたまちになるよう、これからも市民の福祉の向上に努めながら、市民と議会のパイプ役として市政に声を届けてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ひとつの滝沢、みんなの滝沢 市民派 5つのスローガン

- 1 **市民と議会のパイプ役**を努めます  
市民参加の議会と持続可能な財政確保(ふるさと納税他)を目指し、透明性の確保と課題解決能力の向上に努めます
- 2 **福祉の充実**  
「地域共生社会」を目指し、障がい者・高齢者が安心して暮らせるよう、医療・介護・福祉の充実を努めます
- 3 **安心・安全 まちづくり**  
地域の交通安全と災害の防災対策に努め、危険区域を点検し対策を講じます
- 4 **子育て支援**  
仕事と子育てを両立させ、「子どもまんなか社会」の実現を目指します
- 5 **産業の活性化**  
DXを推進し、地場産業を活性化させ、若者が定着できる地域の創出に努めます

# 議会報告だより

## 一般質問 Q & A



議会演説の様子

令和7年2月一般質問から

令和7年6月一般質問から

### Q 災害拠点等の上下水道耐震化及び火山対策について

噴火による災害が起きた場合における上下水道の急所施設の対策は

A 停電時の対策として取水施設および浄水施設に非常発電設備を備えており、非常時の水源間の総合融通を強化するための盛岡広域での連携を進めます。

### Q 重層的支援体制整備事業の進捗状況は

A 6年度は、他分野連携会議として、庁内関係課のプロジェクトチーム会議、庁外機関を含めた推進会議を開催し、実施計画やスケジュールの確認を行いました。この事業の取組を通じて、部局横断的な連携体制を強化し、地域共生社会の実現を目指してまいります。

(重層的支援体制整備事業とは、介護、障がい、子ども・子育てなど、それぞれだけの分野における制度利用や支援だけでは解決が困難な困りごとに対応し、包括的な支援を行う仕組みづくりのための事業であり、滝沢市では令和7年度から実施しています)

### Q ふるさと納税の推進について

馬産農家への補助金は

A クラウドファンディングで寄せられた寄付を原資としてチャグチャグ馬コの保存継承するために馬資源、装束、人材確保に取組む必要があり、6月の行進行事以外のイベントを増やし、出馬手当による支援に取組んでいます。今後、共同馬主制度や預託施設、経済的支援の調査検討が必要と考えています。

### Q ふるさと納税の充当先は

A ふるさと納税は、岩手山、鞍掛山、春子谷地など自然環境の保全を始め、産業振興、健康福祉など市が掲げる5つの項目の中から、選択して寄付していただいております。



### Q ふるさと納税について

ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングは

A 令和5年度からチャグチャグ馬コの保存継承を目的にふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施し、全国から多くの寄付をいただいております。「地域を応援したい」「地域に貢献したい」という思いを事業に反映できるよう実施してまいります。

### Q 小中学生の不登校について

不登校児童生徒の中でいじめが原因である件数は

A 人間関係のトラブルが要因として考えられるものが数件あります。義務教育段階の児童生徒は、人間関係づくりや社会生活への適応力が未熟であるため学校への不適応が生じる場合があります。様々な要因が絡み合っており、いじめが不登校の原因と判断することは難しいです。

### Q フレンド滝沢の相談件数は

A 小中学校合わせて14件ありました。

### Q 災害時の要支援者避難支援について

合理的配慮を必要とする災害弱者に対して、個別避難計画の作成を行うための相談窓口は

A 相談窓口は地域福祉課が担当しており、個別避難計画を紹介したパンフレットを民生委員・児童委員などを通じて周知、啓発していくほか、市の出前講座のメニューにも載せながら、支援が必要な方や家族が相談しやすい環境を整備してまいります。

### Q 福祉避難所の物資や人員等の配置の取組方針は

A 福祉避難所として7法人9施設と「災害時に要支援者等の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定」を締結しており、令和5年度から毎年情報交換会を開催し開設に備えています。

## 「スローショッピング」全国最優秀賞受賞おめでとうございます

NPO法人やまぼうしネットワーク(紺野敏昭理事長)は、厚生労働省の委託を受けた認知症サポーター支援団体、全国キャラバン・メイト連絡協議会(東京都)の認知症サポート部門で2024年度の最優秀賞を受賞しました。

### ふくちゃんコラム

## 65才になったら介護保険を学びましょう

2025年は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢社会を迎えています。滝沢市の高齢化率は、令和5年3月末の第1号被保険者(65歳以上)は、14,785人であり、高齢化率(市人口に対する65歳以上人口割合)は26.9%です。

第1号被保険者としてサービスを利用できる65歳以上になったなら、常識として介護保険を上手に活用するために、介護保険を学びましょう。「自分はまだ自立して生活できているので必要ない」「他人を家に上げたくない」「ヘルパーの世話になるなんて、世間的に恥ずかしい」…と自分の衰えを認めたくなかったり、世間体を気にしたりする方がいることも理解できます。“子どもには迷惑をかけたくない”とためらう親も多いです。しかし、核家族化が進行した現在は、老老介護や高齢の単身者が増えており、介護サービスの増大が見込まれます。介護保険の利用は国民の権利であり、介護が必要な状態になってもできる限り自立した生活が送れるよう利用することが望まれます。

介護保険は、65歳以上の高齢者または40歳から64歳の特定疾病患者のうち介護が必要になった人を社会全体で支えるしくみです。

#### ●介護保険はどんな保険?

介護保険は、皆で保険料を負担して、必要な方に給付するしくみです。制度の運営主体(保険者)は、市町村(滝沢市)で、保険料と税金で運営されています。サービスを受けるには原則1割の自己負担が必要です。ただし、前年度の所得に応じて、自己負担率が2割あるいは3割になります。

#### ●保険料の支払いは何歳から?

40歳から64歳までの被保険者は加入している健康保険と一緒に徴収されます。65歳以上の被保険者は、原則として年金からの天引きで市町村が徴収します。

#### ●サービスを受けられる被保険者とは?

介護保険の加入者には第1号被保険者(65歳以上の方)と第2号被保険者(40歳から64歳までの医療保険の加入者)の分類があります。サービスの対象者は、原則として第1号被保険者だけです。第2号被保険者は老化に起因する疾病(指定の16疾病)により介護認定を受けた場合に限り対象となります。

#### ●介護保険被保険者証はどこでもらえるの?

制度の運営主体は滝沢市ですから、健康福祉部高齢者支援課が窓口となります。65歳以上の方には、一人ひとりに被保険者証が郵送で交付されます。被保険者証は、65歳の誕生月に交付されますが、そのままでは、介護サービスは利用できません。介護認定を受けるための手続きを忘れないようにしましょう。

#### ●介護保険で受けられるサービスは?

- (1) 居宅介護支援 ケアプラン作成、家族の相談など
- (2) 自宅に住むためのサービス(居宅サービス)
  - ①訪問型サービス:訪問介護(生活援助、身体介護)、訪問看護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導
  - ②通所型サービス:デイサービス、デイケア
    - ③短期滞在型サービス:ショートステイ
- (3) 施設に入居するサービス(施設サービス)
  - ①特別養護老人ホーム、②介護老人保健施設、③介護療養型医療施設

介護保険が必要になったときは滝沢市健康福祉部高齢者支援課(TEL019-656-6521)や市内の地域包括支援センターに相談しましょう。

- 松実会地域包括支援センター019-688-1088
- 滝沢市地域包括支援センター019-656-6523

- 滝沢市地域包括支援センター
- プランチ(れいたく苑居宅介護支援事業所)019-684-5227
- 滝沢南地域包括支援センター019-601-5415

## ボランティア活動から

9月からはじまります

### 上の山かんからボランティア

毎月第4日曜日 午前8時から  
上山団地公園  
上山団地内の新聞紙や段ボール類、空き缶などの資源回収を行っています。

### スローショッピング

～認知症になっても住みよいまちづくりプロジェクト～  
毎週木曜日 午後1時から3時  
マイヤ滝沢店  
認知症や障がい者などのサポートが必要な人の買物のお手伝い。スローレジでゆっくりと支払いができます。

### 介護家族のつどい

～認知症の人と介護家族のつどい～  
毎月第3日曜日  
午後1時30分から3時30分  
滝沢市市民福祉センター  
認知症の介護体験者や家族が集まる相談の場です。

### みんなのがっこう

毎月第1・3日曜日 午前10時から12時  
かんの事務所  
学びたいけど自分にあった学びの場がない。学校に行っていないけど学びたい、かけ算がわからない、歳をとっても学びたい…など。その人にあった学びの場です。

